

SDGsへの取り組み -Actions on SDGs-

最先端の技術で人とICTをつなげる製品やソリューション・サービスの提供を通じて、SDGsの達成に貢献していきます。

「第9期環境行動計画」における取り組み

「富士通フロンテックグループ第9期環境行動計画」（2019～2020年度）の項目の1つとして「ICTサービスを通じたSDGsの達成への貢献」を掲げ、3つの大テーマおよび6つの小テーマからなる実施計画を策定しました。

2019年度は、「SDGs貢献ソリューション」の開発やサステナビリティサイトにおける情報発信を中心に活動を展開し、計画30件に対し実績52件となり、目標を達成できました。

2020年度は、取り組みを拡大・深化させ、引き続きSDGsの達成に貢献していきます。

【SDGsへの取り組み計画】

① SDGsに関する理解の向上	
1) SDGsに関する社内啓発	e-ラーニングの受講やイントラネットなどの情報発信を通じて社内啓発を行い、全社的にSDGsに関する理解を向上させる。
2) SDGsに精通した人材の育成	販促会議、勉強会におけるSDGsへの深い理解、社外セミナー・講習の聴講などを通じ、SDGsに精通した人材を育成・確保し、全社的な推進体制の基盤を構築する。
② お客様とのコミュニケーション	
3) 「SDGs貢献ソリューション」の開発	従来の「環境貢献ソリューション」認定制度をベースに、SDGsへの貢献要素を付加（17のゴールと関連づけ）した「SDGs貢献ソリューション」を開発する。
4) 「SDGs貢献ソリューション」の提案・受注	お客様との商談において、提案書を用いて「SDGs貢献ソリューション」導入によるSDGsへの貢献要素をPRし、受注獲得につなげる。
5) SDGsへの取り組みの情報発信	サステナビリティサイト、環境報告書などを通じて、SDGsへの取り組みをステークホルダーへ積極的に発信する。
③ ソリューションのSDGs事例化、発信	
6) 「SDGs貢献ソリューション」導入事例の発信	「SDGs貢献ソリューション」の導入事例を発信・紹介する。

2019年度の主な実績

SDGsに関する社内啓発

SDGsへの取り組みを推進・拡大するには、まず社内へ理解を浸透させることが重要なためトップメッセージの発信をはじめ、図書室でのSDGs関連書籍の貸し出しや、海洋プラスチックごみ問題への対策と意識啓発を兼ねたペットボトル飲料の販売中止などを行いました。

SDGsに精通した人材の育成

SDGsの事務局メンバーを中心に延べ6名が外部団体が主催するセミナーなどを聴講し、理解を深めました。

また、上位組織の富士通(株)の講師を招いてサーキュラーエコノミーの現状などについて社内説明会を開催し、開発者を中心に42名が聴講。今後のSDGs関連ビジネスの展開に向けて重要な情報を共有しました。

「SDGs貢献ソリューション」の開発・提供

年初に、「SDGs貢献ソリューション」の制度を設計し、マネジメントレビューを通じてソリューション開発部門へ周知しました。その後、各開発部門において同ソリューションの内容を検討・決定し、1年を通じて開発に取り組みました。結果、2019年度は、計画の5件に対し、合計9件のソリューションを開発・提供することができました。

（実績の詳細は、P11「ソリューション・サービスビジネス」を参照。）

ESGへの取り組みに関する情報発信

2019年6月から、公式Webサイト内にサステナビリティサイトを立ち上げ、当社グループのESG（環境・社会・ガバナンス）活動の情報を外部へ発信しています。

2019年度は、「環境コンプライアンス」や「気候変動への取り組み」、「地域貢献活動」などのコンテンツを制作・発信しました。

*サステナビリティサイトのURL：

<https://www.fujitsu.com/jp/group/frontech/about/sustainability/index.html>



サステナビリティサイトのトップイメージ